

第1 経緯

- 5月19日（木） 沖縄県うるま市における女性死体遺棄事件による米軍属被疑者（男）の検挙
- 5月25日（水） 安倍総理より内閣官房長官に対策の検討の指示
- 5月26日（木） 内閣官房長官を長とし、関係省庁の局長級を構成員とする「沖縄県における犯罪抑止対策推進チーム」の発足（当庁からは官房長及び生活安全局長が構成員）
- 6月3日（金） 同チームによる沖縄県における犯罪抑止に関する対策の取りまとめ（別紙参照）

第2 対策の骨子

- 1 防犯パトロール体制の強化
 - (1) 「沖縄・地域安全パトロール隊」の創設
 - (2) 警察力の充実・強化

- 2 安全・安心な環境の整備
 - (1) 夜道の明るさの確保等
 - (2) 犯罪抑止等に配慮したまちづくり
 - (3) 学校における防犯教育、学校安全管理体制等の充実
 - (4) ICTを活用した防犯対策に関するモデルの構築

- 3 国と地元自治体との協議機関の設置

1 事案概要

- (1) 本年5月28日、実父が躰と称して男児を北海道亀田郡七飯町^{ななえちよう}の山中に置き去りにした事案。
- (2) 行方不明者
北海道北斗市居住
小学生 A男 (7歳)

2 捜索活動等状況

○ 警察の対応

5月29日、特異行方不明者として行方不明者届を受理。以降、1日最大約90名態勢により、男児が置き去りにされた場所を中心に捜索活動を実施。

○ 消防・自治体等の対応

消防、消防団、市役所、役場等に加え、6月1日からは陸上自衛隊も加わり1日最大合計約200名で捜索活動を実施。

3 発見状況

- 6月3日午前7時50分ころ、北海道茅部郡鹿部町^{かやべぐんしかべちよう}の陸上自衛隊演習場「駒ヶ岳演習場」内の施設（隊員の休憩、簡易宿泊用）において、訓練中の自衛隊員が男児を発見。
- 発見時、若干衰弱が見られるも大きな外傷はなく、意識ははっきりした状態。市立函館病院において、両親が本人であることを確認。

4 児童相談所への通告等

- 6月3日、函館中央警察署から函館児童相談所に対し、児童虐待の疑いで通告。
- 児童虐待の通告人員は、過去10年一貫して増加傾向にあり、平成27年は37,020人。

岡山県警察は、6月5日、平成28年5月31日に発生した指定暴力団神戸山口組池田組幹部に対する銃器使用殺人事件で、指定暴力団六代目山口組三代目弘道会傘下組織組員を検挙した。

1 被疑者

指定暴力団六代目山口組三代目弘道会傘下組織組員
(32歳)

2 被害者

指定暴力団神戸山口組池田組幹部
(当時55歳)

3 事案の概要

被疑者は、殺意を持って、平成28年5月31日午前9時50分頃、岡山市南区豊成2丁目地内のマンション駐車場において、拳銃様のもを使用して被害者に向けて数発発射し、同人を殺害したものの。

4 今後の方針

岡山県警察においては、本件の全容解明に向けて捜査を推進するとともに、対立抗争が激化する可能性もあることから、両団体に対する取締りや警戒を徹底していく方針。